

走る『あおぞら号』

あおぞら

あおぞら

笑顔

みたかハンディキャブ交流誌
2021(令和3)年 秋季号 Vol.147

協力：朗読ボランティア【ういろうの会】

新型コロナウイルスのワクチン及びその接種についての話題で世間は盛り上がっているが、インフルエンザワクチンの時のような落ち着きがないのはなぜなのであろうか。インフルエンザ以上に感染したくない、重症化したくない、死にたくないとする感情が大きいということか。であればどうして感染対策（三密を避ける、うがい、手洗い、消毒を徹底する）をきちんとしないでフラフラと外を出歩くのか。つまり自分は感染しないだろうという変な自信（鈍感力？）と周りのみんなも感染していない、あるいはみんなでかかれば怖くない（なんとか免疫とか言うやつ）というなんちゃらバイアス（やはり鈍感力？）がかかっているのか。結局流行に流れやすい日本人特有の性格という気がする。

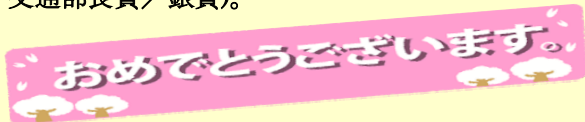
新型コロナウイルス感染が怖いからと外出自粛をきっちと守っているがために引きこもり鬱になってしまうのも怖さのあまりに神経質になって心を病んでしまうから。多少は自分に自信をもって鈍感力を養わないとまだしばらくの間あるいは相当長期間に渡って感染が続く新型コロナウイルスに打ち勝つことはできないだろう。完璧な無菌状態で生活することがなんかできる訳ないのだから、感染しないことよりも感染してもそれに打ち勝つ抵抗力すなわち自己免疫力をつけることが大切だと思う。どんなに優秀なワクチンや治療薬ができたって、最後は個々人が持っている自然治癒力の差で生死が分かれるのだから。

とはいうものの小生もミーハーの一員なのでワクチン接種は受けた。自分なりに接種するメリット、デメリットの優劣を判断したつもりである。鈍感力の優れた若い人々はお友達が接種しないからとか、マスコミが大々的に喧伝する副作用（副反応との違いがわからんが）が怖いからとか自分は感染しないだろうという科学的根拠のない神がかり的自信、いずれにせよ理由を聞くと例の情報氾濫下のなんとかバイアスがかかっているとしか思えない。多分自分も若者に生まれてきたら同じようにふるまっただろうと思うとつくづく若者に生まれてこなくてよかったと思う。

2021年度春の安全運転表彰

4名の運転ボランティアさんが受賞されました。

後列左から、小花敏也氏(三鷹警察署長賞)、須山正人氏(警視庁交通部長賞／銅賞)、生田 勇氏(警視庁交通部長賞／銅賞)、前列右望月栄成氏(警視庁交通部長賞／銀賞)。



「福祉有償運送運転者講習会」開催

去る6月26日（土）、27日（日）の両日に渡って第55回福祉有償運送運転者講習会を開催し、7名の受講者が講習を受けました。そのうちの1名がみたかハンディキャブに入会されました。（新人ボランティア紹介の項参照）講師の方々、及び実車運行時にお手伝いいただいた方々ご苦労様でした。



残念ですが、大切なお知らせです！！

「秋の日帰り交流会中止のお知らせ」

10月3日(日)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、ワクチン接種が進んでいるとはいえ、バス使用に際しての各種制限(検温、マスク使用、座席の使用制限、マイク使用禁止)が多く旅行を楽しめない状況にあります。このような現状が10月までに改善される見通しも立たないこともあり、高齢者、身体的弱者の集団であるキャブとしては健常者以上のより一層の配慮が必要と考えます。以上のことから残念ながら今回予定の秋の交流会は中止とさせていただきます。

尚、交流部を中心とした有志による国営昭和記念公園実踏を行いました。いくつかの問題点の指摘があり、次回交流会開催の際には別の場所を検討したいと考えています。理事会での中止承認も頂きましたので、バスの予約もキャンセルいたしました。



新人ボランティアさん紹介【敬称略】

◆末田泰規



地域の為に何か貢献できることはないかと考えていたところ、三鷹市報でハンディキャブの活動を知り、参加させていただくことになりました。最近道を感じるために普段からランドマークになるようなものを探したりしているので、自分の知らない三鷹を発見できたりと思われぬ楽しみも増えています。諸先輩方もやさしく丁寧に指導してくださり、思い切って参加してみても良かったと思っています。平日は仕事をしているため、週末の参加しかできませんが、少しでも貢献できるように励んでいきたいと思っています。

シルバードライバーズ交通安全教室に参加して

7月2日（金）に伊藤 五十鈴さんが警視庁で開催されている「シルバードライバーズ交通安全教室」に参加されました。これは65歳以上で運転免許を持っている方であればどなたでも参加できる講習で自分の運転のチェックができます。ベテラン指導員による親切、丁寧な助言・指導が受けられます。

シュミレーターによる運転技能試験

伊藤さんはキャブD号車で参加、福祉自動車での急発進、急制動、急ハンドルを特に避けることを強調されたとのこと。今回2度目の参加でしたが、1度目とは内容が異なっており、65歳以上の運転ボランティア各位は、すでに参加された方も含めて再度受講されることをお勧めします。



運転ボランティア不足に向けた対策

総務部を中心に有志による表題対策検討会を行いました。曜日、時間帯により運行可能ボランティア数と利用者数のバランスがとれていない現状を解決する方策について意見交換を行いました。

新規運転ボランティア勧誘を積極的に続けているにも関わらず、十分な運行可能ボランティアの確保ができない現状では、状況を見ながら利用会員の新規入会を制限する（車いす利用者限定とするとか）こともやむをえないと考えます。



また運行ボランティアがいないが故に運行依頼をやむを得ずお断りする方法についてもいくつかの案が出ましたが、一つに決められないことから受付担当者及び運行組み立てを行うコーディネーターの裁量で予約の遅かった方をお断りする等、できる限り不公平感が出ないように工夫することなどとしています。利用会員の方にはご迷惑をかけることになるかと思いますが現状をご理解のうえご理解いただきたい。またドライバーにふさわしい方がおられましたら是非、ご紹介ください。よろしくお願い致します。



みたかハンディキャブ事務局より

正会員さんの報告会出席が少ないです。報告会への出席を促すために魅力ある会議とする方策を検討中です。

開催日と会議内容の事前周知、会議時間の短縮（理事会との統合等）、車両整備の簡略化（ガソリンスタンドの洗車機利用等）、車両操作法の説明、その他注意事項だけでなくちょっといい話の披露やミニ講座、講習等イベントも考えています。

多くの正会員さんの出席を期待しております。



利用者さんからの寄稿

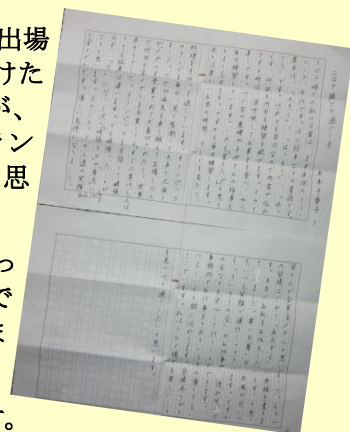
「コロナ禍での過ごし方」 木本 千香子

コロナ禍での私の日常は、まず身体のトレーニング、歩行です。次に絵本などの音読です。基本は「大きく」、「はっきり」、「ゆっくり」です。けれども早口なので内容が伝わらず、何回も何回も練習を続けます。イライラする時は、深呼吸してお菓子を食べ、やり直します。ペン字の基礎や子供さんの指導も毎日練習しています。これも「覚えた!!」と思うとよく忘れます。ですから毎日練習します。あとは楽しいお茶の時間、テレビを見たり、料理を手伝って過ごしています。

オリンピックのテレビを毎日見て感激して大声で応援しました。ケガや病気を乗り越えて出場した人がメダルを受賞されて大喜びされたり、世界で何回も金メダルを受賞してもすぐに負けた人は辛そうでした。オリンピックを目指して頑張っても結果は違います。でも頑張ったことが、金メダルです!! 必ず「力」になって次へ「頑張る力」や「勇気」になると思います。ボランティアの人たちの笑顔も金メダルです。優しい気持ちになりました。皆さんが全員金メダルと思いました。

キャブの皆様、はじめて「あおぞら」に原稿を書きます。本当にお礼をお伝えしたいとずっと思っていました。寒い日、暑い日、風雨の日、いつもいつも笑顔で運行して下さいます。ですから「ういろうの会」のお仕事や、「読み聞かせの会」なども、安心して行くことができます。事務所でお仕事をされている方の優しさもいつもじいんと胸に伝わります。

皆様ありがとうございます。私はコロナ禍でも楽しいことを見つけて過ごしたいと思います。



※このように、原稿用紙に一生懸命書いていただきました。

今後の予定

★「報告会」開催日程 多くの正会員の出席を望みます。 ★その他行事

*9月12日(日) 13:30 上連雀分庁舎
*10月17日(日) // //
*11月14日(日) // //
*12月12日(日) // //

*11月27日(土)、28日(日) 福祉有償運送運転者講習会

※お手伝いいただける方を募集します。

詳細は事務局までお願いします。

多くの正会員の出席を望みます。



残念ですが、毎年恒例となっておりました
「敬老のつどい」・「福祉バザー」
は今年も中止になりました。
来年は開催されますように…。



緊急連絡先

★運行管理者【加持】★

080-1102-7281

左記連絡先に不通の場合のみ

下記の連絡先へご連絡ください。

*須山:090-5157-1635

みたかハンディキャブホームページ

QRコード

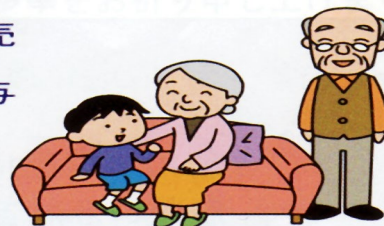


株式会社
サカイ・ヘルスケア

私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



〈サカイ・ヘルスケア 三鷹店〉
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

NPO法人 みたかハンディキャブ 『交流誌』

*発行/NPO法人 みたかハンディキャブ

*発行責任者/理事長 加持真人

*〒181-0012 三鷹市上連雀8-3-10 三鷹市上連雀分庁舎

*TEL/0422-41-0185

*FAX/0422-41-0274

*E-mail/mcab3@jcom.zaq.ne.jp

*URL/https://www.mcab.jp/

